

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

早いもので、私が編集をさせていたたくようになり、もう五巻を迎えることになりました。毎年のですが、本の「顔」にあたる表紙のデザインや色を決める時は緊張しますが、楽しい時でもあります。今年の表紙はいかがでしょう。大きなぞうにちよこんとのった男の子は何を見ているのでしょうか。将来は絵本の作家に……という夢いっぱいの子、紺野千秋さんに描いていただきました。一年間、どうぞよろしく願います。

新年を迎え、新しいシリーズが始まります。

「子どもの権利条約」を巡って”昨年八月号のシンポジウム報告が大変好評で、この問題をもう少し考えてみたいと思い企画しました。昨秋アメリカで、子どもが実の親の「子」であることを拒否し、養父母の「子」となることの権利

を認める判決が下り、話題となりました。日本が国としてこの条約を批准するということはどういうことなのか。法律をはじめ、現場の先生など、様々な立場からの報告により、この条約を考えていきたいと思っております。

二つめのシリーズ「公教育は家庭教育にどこまで関与するか」。大変オーバーな、また長いタイトルで恐縮です。子どもが幼稚園や保育園に入り社会生活を始めた時、今まで家庭にまかされていたつけや衣食の生活をはじめ、人としての常識や道徳の問題に至るまで様々な、家庭と園との互いの侵入(?)の問題で、親も先生も悩んでいるのではないのでしょうか。昔の様に家族や家制度がしっかりとっていた時代とちがひ、家庭の教育力の低下ということも問題となっています。親も先生も、それぞれの立場から遠慮のない意見を出し合い、家庭と教育の現場のそれぞれの役割を考えていきたいと思っております。

(K)

## 幼児の教育

第九十二巻 第一号

(一九九三年一月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成五年一月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五―二一―

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町三一

振替口座 東京九一―一九六〇

電話〇三三二一九二七七七八一

●本誌御購読の御注文は発売所フレール館にお願いします

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。